

# News Release



令和7年4月10日

各報道機関文教担当記者 各位

## 遺贈寄附の受入体制強化と広報連携を実施 READYFOR と金沢大学が遺贈寄附分野の包括提携を開始

READYFOR 株式会社（所在地：東京都千代田区，代表：米良はるか，以下：READYFOR）が運営する「レディーフォー遺贈寄付サポートサービス」と国立大学法人金沢大学（所在地：石川県金沢市，学長：和田隆志，以下：金沢大学）は，遺贈寄附分野の包括提携を開始しました。

本提携により，金沢大学に対して，「レディーフォー遺贈寄付サポートサービス」が不動産遺贈や包括遺贈の受入サポートを行うとともに，卒業生をはじめとする関係者への遺贈寄附に関する情報発信を強化し連携することで，より多くの方が金沢大学へ遺贈寄附を行えるようになります。

金沢大学では，2008年に「金沢大学基金」を創設し，大学運営における安定的な資金の確保を進めてきました。「金沢大学基金」は，学生への支援や教育研究環境の整備に加え，令和6年能登半島地震からの復旧・復興を推進するにあたり，重要な財源の一つとなっています。

READYFOR では，2021年4月より「レディーフォー遺贈寄付サポート」を開始し，これまで高齢者や相続人から生前寄附・遺贈寄附のご相談を1,300件以上受付け，サポートを実施してきました。

本件について，ぜひ取材・報道をよろしくお願いいたします。（詳細別紙）

<本件照会先>  
金沢大学基金・学友支援室 松村  
TEL：076-264-5075  
E-mail:kikin@adm.kanazawa-u.ac.jp

## READYFOR と金沢大学が遺贈寄附分野の包括提携について

### ■包括提携の概要

#### (1) 提携の内容

- ・ 大学では受入が難しい不動産の遺贈や包括遺贈の受入をサポートし、現金以外の資産を換金することで、大学が受け取りやすい形で寄附を実行
- ・ 大学の卒業生をはじめとする関係者への遺贈寄附に関する情報発信や相談対応をサポート

#### (2) 提携によるメリット

本提携により下記のようなメリットが見込まれます。

- ・ 金沢大学としては、遺贈寄附に関する専門知識を持った専任の職員を増やすことなく、新たな資金の調達手段が広がる
- ・ 遺贈寄附を検討される方々に対して、遺贈寄附に関する相談料やその他の生前の費用負担が発生しない形で、金沢大学への寄附という選択肢が提案可能になる

### ■「レディーフォー遺贈寄付サポートサービス」とは

「遺贈寄附」とは、公益法人、病院、学校などの団体に自分の遺産や自分が相続した財産の一部または全部を寄附することを指します。近年、終活への意識の高まりや、おひとり様世帯の増加などを背景に、遺贈寄附に対する意識・関心が高まっています。2020年7月には自筆証書遺言書保管制度（※）が開始するなど、関連制度の整備も進んでいます。

READYFOR では、2021年4月より「レディーフォー遺贈寄付サポートサービス」を立ち上げ、NPO・大学・医療機関などの活動団体の遺贈寄附受入に関する包括支援の実施、および遺贈寄附・生前寄附を検討されている個人向け相談窓口を開設し、サポートを行っています。

- ・「レディーフォー遺贈寄付サポートサービス」ページ：<https://izo.readyfor.jp/>

（※法務局で自筆証書遺言（自分で書いた遺言書）を保管する制度を指します。これにより、遺言書の紛失や隠匿等を防止し、遺言書の存在の把握が容易になり、遺言者の最終意思の実現や相続手続きの円滑化が見込まれます）

以上

金沢大学基金・学友支援室  
担当／松村